

令和6年12月17日

大阪市教育局教育長 多田 勝哉 様

住吉区東部人権教育研究協議会

PTA会長会会長 黒岩 実希

教育要求書

教育要求書提出行動の目的

教育現場である各学校や周辺地域における子どもを取り巻く現状を踏まえ、憲法で定められた教育行政の責任である「必要な教育諸条件の整備確立」に関するPTAと地域からの要望を大阪市に提出し協議することで、すべての子どもにとってよりよい教育環境をつくることを目的とする。

<教職員の増員を求めます>

①現在配置されている加配定数・児童生徒支援加配等を維持し、さらに必要とするところに加配を配置すること。

・担任がかかえる職務が多岐にわたっている現状がある。教材研究や授業にかかわる資料を作成、ICT機器の準備・指導、また、保護者や地域との関わりなど、年々増加の一途をたどっている。また、不登校児童生徒、別室登校児童生徒など、子どもたちを取り巻く課題は多様化しており、現状の教職員の人数では困難な状況である。

また、支援を要する児童・生徒が多様化し、きめ細やかな配慮が必要となっている。教職員の加配を増やし、SCやSSWの常駐化を進め、職務の分担を図り、子どもとの関わりを増やしていくことを望む。

<特別支援教育の充実を求めます>

②これまで大阪市が大切にしてきたインクルーシブ教育の理念を継承し、人的配置を維持すること。

・特別支援教育のあり方について、国の方針をもとに大阪市も変革を求められている現状がある。通級指導についての説明も保護者に広まりつつある中、これまで大阪市が大切にしてきたインクルーシブ教育が維持できないのではないかとの不安の声があがっている。特別支援教育の一層の充実を図るためにも、人的配置を維持し、これまで受けてきた支援・サポートがなくなる児童・生徒

が出ないようにご配慮いただきたい。

＜児童・生徒並びに教職員の安全確保を求めます＞

③特別教室や、体育館に空調を設置すること。

・近年、夏の暑さが非常に厳しくなり、熱中症対策に万全を期している状況である。その中で、空調が設置されていない特別教室や体育館があることで、児童・生徒並びに教職員の安全確保のために、授業場所や取組の変更を考えざるを得ない状況となっている。

児童・生徒が活動するすべての教室・施設に空調を完備し、教職員も含め、安全に教育活動を推進できるよう、改善を望む。

＜学校選択制の現状や課題を明らかにすることを求めます＞

④学校選択制における学校現場の実態について

・学校選択制によって、学校によって児童・生徒数が増える学校、減る学校が二極化している現状がある。導入してから 10 年が経った学校選択制について、総括をいただきたい。

＜万博について情報を開示することを求めます＞

⑤安全性を確保できていない万博への遠足について

・暑さやメタンガスの爆発など、安全性が確保されていない現状で、万博への遠足を学校行事として取り扱うことについて疑問を感じる。どのようにして児童生徒の安全性を確保していくのかを明らかにされたい。